

2020年度 事業報告書

委員会名	役職	担当
拡大推進会議	議長	横田隆

基本方針	<p>大館青年会議所ではこれまで63年もの間、先輩諸氏が明るい豊かな社会を目指し、地域に活力をもたらす運動を展開して参りました。かつては100名を超す会員が在籍した大館青年会議所も、2020年度は22名からのスタートとなり、このままいけば、数年後には半数が卒業するまでに存亡の危機に立たされています。人が人を磨き上げる青年会議所にとって、多くの会員を擁することは不可欠であり、「修練・奉仕・友情」のJC三信条を地域に広め、ともに志を同じくしていく仲間を増やす必要があります。</p> <p>まずは、会員全員が共通の目的をもって会員拡大を推進するために、地域にいる多くの新入会員候補の情報を収集し、候補者をリストアップすることで、率先して拡大活動に邁進する基盤を築き上げます。そして、青年会議所の理念をより多くの人に浸透させるため、全会員が一丸となった拡大運動を展開することで、ともに新しい時代に「挑戦」する仲間を増やす運動を促進します。さらに、拡大活動への機運を高めるために、会員の意欲を向上させる例会を開催し、全会員の拡大に向けた意欲を醸成させます。また、充実した拡大活動に向かうために、OBとの親交を深める交流会を開催し、現役とOBとの連携を高め、会員候補の情報拡充を図ります。</p> <p>志を同じくする仲間を迎える我々の運動が、会員一人ひとりを自己成長させる原動力となり、責任と自覚を持った会員同士が集い力を合わせることで、地域に活力を与える人財へと成長し、ともに郷土の明るい未来を目指して、さらなる高みに「挑戦」していく元気のあるまち大館を実現します。</p>
------	--

	1	2	3	4
事業区分	他	他	他	他
事業名	全会員を巻き込んだ会員拡大活動および情報収集	会員拡大例会の企画・運営	会員拡大懇談会の企画・運営	OB交流会の企画・運営
事業目的	<p>【対外】なし</p> <p>【対内】一人ひとりの会員が当事者意識をもった会員拡大の促進。</p>	<p>【対外】なし</p> <p>【対内】会員拡大の重要性を再認識し、さらに拡大運動に向けた気概を向上させることを目的とします。大館青年会議所の年度目標である会員40人を目指すことを目的とします。</p>	<p>【対外】なし</p> <p>【対内】2月以降の会員拡大を改めて検証し、今後さらに気概を高める機会を全会員と共有することを目的とします。</p>	<p>【対外】実施せず</p> <p>【対内】実施せず</p>
実施日時	通年	2020年 2月 19日 (水) 18:30~21:00	2020年 6月 17日(水) 19:00~21:00	実施せず
事業内容	全会員を3つのグループに分け、会員候補リストを作成し、グループリーダーを筆頭に会員募集に向けたアプローチを展開した。	全会員が「大館青年会議所が会員減に起因する存続における危機的状況にある」現状を共有し、会員拡大が急務であることを理解してもらうために、拡大への意識を変革させ、事業翌日からすぐ行動に移せるような意欲を持ってもらう例会を設定しました。 第1部 「虻川先輩に学ぶ拡大の必要性と手法」	大館青年会議所がこれからは地域に明るい豊かな社会を目指す運動を推進していくためにも、会員の拡大は不可欠であることから、2月以降の会員拡大を改めて検証し、今後さらに気概を高める機会を全会員と共有する例会を開催しました。 【内容】 ○拡大推進会議議長より振り返り(良かった点と改善点)	新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みて事業中止

		<p>大館青年会議所OBでこれまで数々の会員拡大に尽力された虻川洋行先輩を講師にお招きし、なぜ会員拡大が必要なのか、実際に行動することの大切さをご講演頂きました。</p> <p>その後、メンバーが候補者役となり、実際の勧誘手法をロールプレイング形式で実演してもらい、会員拡大のイメージを共有しました。</p> <p>第2部 「グループワーク: 拡大運動シミュレーション」</p> <p>拡大推進会議が選定した候補者リストから、相手先を10先選び、「なぜその相手先、誰が、どのようにして」アタックするかを事前にチーム分けしたメンバーがグループワークを行い、対象とそのアプローチの仕方を確認し合った。</p>	<p>○各グループリーダーより報告（A、B、Cグループ各リーダー）</p> <p>・○ 理事長より今後の方針説明</p> <p>○懇親会を兼ねた意見交換会</p>		
参加人数	計画	<p><u>外部</u> なし</p> <p><u>内部</u> 全会員の参加 新入会員20名</p>	<p><u>外部</u> なし</p> <p><u>内部</u> 正会員21名(21名中)</p>	<p><u>外部</u> なし</p> <p><u>内部</u> 正会員20名(22名中)</p>	<p><u>外部</u> なし</p> <p><u>内部</u> なし</p>
	結果	<p><u>外部</u> なし</p> <p><u>内部</u> 新入会員 3名 (うち1名は退会)</p>	<p><u>外部</u> なし</p> <p><u>内部</u> 正会員12名(21名中) 外部監事2名</p>	<p><u>外部</u> なし</p> <p><u>内部</u> 正会員13名(22名中) 外部監事2名</p>	<p><u>外部</u> なし</p> <p><u>内部</u> なし</p>
目的達成の検証	達した点	<p>【対外】 なし</p> <p>【対内】 2020年度初頭の12月例会において、理事長より年間計画20名の拡大の号令をかけていただき、そこから大館青年会議所はそのまま行くと存亡の危機に関わる想いを共有してもらいました。</p> <p>2月の拡大例会の後は、グループリーダーを筆頭に実際に拡大運動へ邁進する熱量が沸き上がり、一人ひとりが行動するよりも多くの会員で意識を共有して「運動」を起こすことが重要であると</p>	<p>【対外】 なし</p> <p>【対内】 ○大館青年会議所の歴史においても拡大担当者として名を馳せた講師の虻川先輩をお呼びし、「なぜ拡大が必要か」「そのためどのようなことに気を付けるべきか」を講演していただきました。アンケートから心に残った講師の言葉を記述してもらったところ、多くの前向きな意気込みが見られました。</p> <p>また第2部においてグループワークを行い、それぞれのメンバーが率先してリストにある選定先以外か</p>	<p>【対外】 なし</p> <p>【対内】 参加者との交流を深め、今後の拡大意識の共有を図ることができました。</p> <p>また新入会員2名が参加し、正会員と懇親を深めました。</p>	<p>【対外】 なし</p> <p>【対内】 なし</p>

		理解して行動することができました。	<p>らも候補者を選出するなど、前向きに検討をする様子が見られました。</p> <p>○本例会を通じて、会員が拡大運動に最も必要な「行動すること」の重要性を認識し、年度目標・会員40名に向けて一丸となって跳戦する方向性を共有することができました。</p>		
	達しなかった点	<p>【対外】なし</p> <p>【対内】3月以降の新型コロナウイルス感染症の影響により、直接訪問の手法が控えられてしまったため、会員の熱量が下がり、年間を通して拡大の意識を維持できなかった点が挙げられます。</p>	<p>【対外】</p> <p>【対内】正会員全員の出席がかなわなかった点。 ・参加者全員からアンケートを回収できなかった点。</p>	<p>【対外】なし</p> <p>【対内】全会員の出席がかなわなかった点が挙げられます。</p>	<p>【対外】なし</p> <p>【対内】なし</p>
	次年度への申し送り事項		<p>○参加者をいかに多く集めるかが例会成功のカギとなります。拡大会議のみならず、三役や総務委員会を通じて参加の呼びかけを徹底してください。</p> <p>○候補者のリストアップ作業は前年のうちから始めてください。</p> <p>○グループリーダーおよびサブリーダーの指名は早いうちに行ってください。またリーダーそれぞれに何をすべきかを明確にさせてください。</p> <p>○今年度はライングループを作り、拡大会議議長及び各グループリーダーとの情報交換に活用しました。スムーズな連携と候補者がかぶらないようにするために有効であったと考えます。次年度も検討してみてください。</p>	なし	なし

総括	<p>2020年度の会員拡大運動は、一部の理事だけではなく、理事以外の全会員が今後の大館青年会議所を背負って立つ気概を意識し、会員拡大を進めていくことを目標にして計画してきました。理事長の方針に従い、2月の拡大例会から一気果敢に拡大活動を展開しましたが、その折に発生した新型コロナウイルス感染症の影響で、訪問が限られてしまい、残念ながら目標人数の20名を達成することはできませんでした。</p> <p>今年、『跳戦』した「全会員を巻き込んだ会員拡大活動」「グループリーダーを筆頭にした拡大システム」など、より良い点は引き継いでいただき、検証の上で改善するところがあれば新しい手法を選定して</p>
----	--

もらうことで、2021年度以降の大館青年会議所を若い力を結集させ盛り上げていただきたいと思います。一年間ありがとうございました。